

News Release

2014年11月6日

報道関係 各位

コカ・コーライーストジャパン株式会社



コカ・コーライーストジャパングループ 2015年4月にグループ会社をさらに統合

コカ・コーライーストジャパン株式会社(本社:東京都港区赤坂、代表取締役社長:カリン・ドラガン、以下、CCEJ)は、成長に向けた「One+ロードマップ」の一環として、経営構造を簡素化し法人ではなくファンクションに沿った組織構造にすることを目的に、グループ会社の統合を着実に進めて参りました。

弊社は、2013年7月1日の設立時には26社の法人で構成されていましたが、2014年1月1日には、製造子会社をコカ・コーライーストジャパンプロダクツ(CCEJP)に統合し、製造事業の集約とシナジー効果の発揮を図りました。さらに、2014年7月1日、物流および機器メンテナンスの子会社をCCEJPに統合しました。また、2015年1月1日には、これまでの販売会社であるコカ・コーラ セントラル ジャパン(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、東京コカ・コーラボトリング(株)、利根コカ・コーラボトリング(株)を当社に統合します。

この計画を推進するため、自動販売機による飲料販売事業および食堂売店事業などを展開しているグループ会社8社の法的統合がCCEJ取締役会において承認されました。

このステップが完了すれば、コカ・コーライーストジャパングループは、コカ・コーライーストジャパン(販売事業および各ファンクションの支援)、コカ・コーライーストジャパンプロダクツ(サプライチェーン事業など)、新統合会社(自販機による販売事業および食堂売店事業など)、および三国サービス(保険事業)の4社に集約されます。

こうした法人の統合と集約により、全組織の意思決定プロセスの簡素化と効率的運営が実現され、グループ全体の事業の更なる強化を図ることを促進します。

記

1. 当社グループの統合推移

2013年7月 CCEJ発足

2014年1月 製造会社4社をコカ・コーライーストジャパンプロダクツ(株)(以下、CCEJP)に統合

7月 物流/機器メンテナンス会社7社をCCEJPに統合

2015年1月 ボトラー4社をCCEJに統合(予定)

4月 自動販売機による飲料販売および食堂売店事業会社8社を1社に統合(予定)

2. グループ会社8社の統合検討の概要

エフ・ヴィセントラル株式会社(以下、FV-C)、三国フーズ株式会社(以下、MFD)、アーバン ベンディックス ネットワーク株式会社(以下、UVXN)、株式会社ウエックス東京(以下、WEX)、フレッシュ・ベンダー・サービス株式会社(以下、FVS)、EXサービス株式会社(以下、EX-S)、TXキャンパス株式会社(以下、TX-C)および日東パシフィックベンディング株式会社(以下、NPV)は、MFDを存続会社として吸収合併による統合をいたします。

- 1. UVXNを存続会社とし、WEXおよびFVSを統合
- 2. EX-Sを存続会社とし、TX-Cを統合
- 3. MFDを存続会社とし、FV-C、UVXN、EX-SおよびNPVを統合

(1)統合の日程(予定)

2015年4月1日(予定)

(2)統合に係る割り当ての内容

本統合による新株式の発行および合併交付金の支払いは行いません。

3. 今後の見通し

本統合は、連結子会社同士の合併であるため、連結業績への影響は軽微です。

【コカ・コーラ・イースト・ジャパン株式会社の概要】

コカ・コーラ・イースト・ジャパン株式会社(銘柄コード:東証 1 部 2580)は、コカ・コーラシステム内では年間売上高で国内最大、世界でも第5位を誇るコカ・コーラボトラー社です。

2013年7月1日付で、関東地域におけるコカ・コーラボトラー4社(コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、東京コカ・コーラボトリング(株)、利根コカ・コーラボトリング(株))が経営統合により誕生。清涼飲料水の関東、東海エリア(1都12県)での製造、販売、営業活動を行っています。「コカ・コーラ」「コカ・コーラ ゼロ」「ジョージア」「い・ろ・は・す」をはじめとする、無糖茶、ジュース、スポーツドリンク、エナジードリンク、その他の炭酸飲料など、50以上のブランドの飲料をお客様にお届けしています。

詳細は、コカ・コーラ・イースト・ジャパンのWEBサイトをご参照ください。www.ccej.co.jp

以 上

本件に関するお問い合わせ先
コカ・コーラ・イースト・ジャパン株式会社
広報・パブリックアフェアーズ本部
広報部 高橋 :03-5575-3860/090-3099-8840